

# Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名: 毎月勤労統計(2015年10月)

発表日: 2015年12月4日(金)

～名目賃金は4ヶ月連続の増加。所定内給与がやや気がかり～

第一生命経済研究所 経済調査部

担当 副主任エコノミスト 高橋 大輝

TEL: 03-5221-4524

(単位: %)

|       |     | 現金給与総額 |       |       |       | 実質賃金  | 常用雇用者数 |     | 総労働時間 |       |
|-------|-----|--------|-------|-------|-------|-------|--------|-----|-------|-------|
|       |     | 所定内    | 所定外   | 特別    | 一般    |       | パート    |     |       |       |
|       |     | 前年比    | 前年比   | 前年比   | 前年比   | 前年比   | 前年比    | 前年比 | 前年比   |       |
| 2014年 | 1月  | ▲ 0.6  | ▲ 0.5 | 4.4   | ▲ 9.9 | ▲ 2.1 | 1.2    | 0.6 | 2.7   | 1.3   |
|       | 2月  | ▲ 0.5  | ▲ 0.9 | 4.1   | 0.2   | ▲ 2.4 | 1.2    | 0.6 | 2.6   | ▲ 0.2 |
|       | 3月  | 0.3    | ▲ 0.7 | 5.3   | 9.8   | ▲ 1.6 | 1.2    | 0.9 | 2.1   | 0.4   |
|       | 4月  | 0.4    | ▲ 0.6 | 5.6   | 15.6  | ▲ 3.6 | 1.4    | 0.6 | 3.3   | ▲ 0.8 |
|       | 5月  | 0.2    | ▲ 0.4 | 3.6   | 7.6   | ▲ 4.0 | 1.4    | 0.7 | 3.1   | ▲ 0.9 |
|       | 6月  | 0.6    | ▲ 0.2 | 2.7   | 1.6   | ▲ 3.6 | 1.5    | 1.0 | 2.8   | 0.4   |
|       | 7月  | 1.9    | 0.0   | 3.2   | 6.9   | ▲ 2.1 | 1.7    | 1.1 | 3.0   | 0.6   |
|       | 8月  | 0.6    | ▲ 0.2 | 0.8   | 13.0  | ▲ 3.4 | 1.7    | 1.3 | 2.4   | ▲ 1.7 |
|       | 9月  | 0.4    | 0.0   | 1.5   | 7.1   | ▲ 3.4 | 1.7    | 1.1 | 2.9   | 0.4   |
|       | 10月 | ▲ 0.1  | ▲ 0.2 | 0.8   | ▲ 0.5 | ▲ 3.4 | 1.6    | 1.0 | 2.8   | 0.4   |
|       | 11月 | ▲ 0.2  | ▲ 0.4 | 0.6   | 1.2   | ▲ 3.1 | 1.6    | 1.1 | 2.8   | ▲ 2.8 |
|       | 12月 | 0.9    | ▲ 0.2 | 0.2   | 1.7   | ▲ 2.0 | 1.7    | 1.2 | 2.8   | ▲ 1.2 |
| 2015年 | 1月  | 0.6    | 0.2   | 2.1   | 7.6   | ▲ 2.3 | 2.0    | 1.1 | 3.9   | 0.0   |
|       | 2月  | 0.1    | 0.0   | 0.5   | 5.7   | ▲ 2.3 | 2.1    | 0.8 | 4.9   | ▲ 0.2 |
|       | 3月  | 0.0    | 0.2   | ▲ 1.8 | 0.5   | ▲ 2.7 | 1.9    | 0.6 | 4.6   | 1.5   |
|       | 4月  | 0.7    | 0.4   | ▲ 1.7 | 10.9  | ▲ 0.1 | 2.0    | 1.3 | 3.8   | 1.2   |
|       | 5月  | 0.7    | 0.2   | ▲ 1.4 | 25.2  | 0.0   | 2.0    | 1.4 | 3.5   | ▲ 2.7 |
|       | 6月  | ▲ 2.5  | 0.4   | ▲ 0.2 | ▲ 6.7 | ▲ 3.0 | 2.1    | 1.1 | 4.4   | ▲ 0.1 |
|       | 7月  | 0.9    | 0.4   | 0.7   | 1.7   | 0.5   | 2.0    | 0.9 | 4.7   | ▲ 0.3 |
|       | 8月  | 0.4    | 0.2   | 1.6   | 1.9   | 0.1   | 2.0    | 0.9 | 4.7   | 0.3   |
|       | 9月  | 0.4    | 0.1   | 1.3   | 12.6  | 0.3   | 2.0    | 1.3 | 3.9   | ▲ 0.9 |
|       | 10月 | 0.7    | 0.1   | 1.2   | 23.9  | 0.4   | 2.2    | 1.7 | 3.4   | ▲ 2.8 |

(出所) 厚生労働省「毎月勤労統計」

## 〇名目賃金は4ヶ月連続の増加。所定内給与がやや気がかり

厚生労働省から発表された10月毎月勤労統計(速報)によれば、一人当たりの現金給与総額(事業所規模5人以上)は前年比+0.7%と4ヶ月連続の増加となった。名目賃金は緩やかな増加基調を辿っていると判断されよう。

ただ、内訳をみると、10月の賃金を牽引したのは特別給与(同+23.9%)だ。賃金の大部分を占める所定内給与は、同+0.1%と増加幅は小幅なものに留まった。確報値で下方修正されやすいクセを考慮すれば前年比マイナスも視野に入る状況であり、やや気がかりな内容と言えよう。一般労働者の所定内給与の伸び幅が縮小しつつあり、所定内給与の増加幅を抑制している。ベアの効果や労働需給の逼迫を踏まえればこの動きには歯止めがかかるとみているが、今後の動向も注視した方が良さそうだ。また、所定外給与は、連動性の高い鉱工業生産がこのところ増加したこともあり、同+1.2%と4ヶ月連続の増加となった。

なお、物価の影響を考慮した実質賃金は、前年比+0.4%と4ヶ月連続で増加した。実質賃金の減少による個人消費の押し下げ圧力は和らいでいる。

## 〇雇用は引き続き堅調。雇用者報酬は増加傾向を維持

常用雇用者数は前年比+2.2%(一般:同+1.7%、パート:同+3.4%)と増加が続き、雇用の堅調さが示された。一般労働者、パートタイム労働者ともに高い伸び率を維持しており、内容も良好だ。パート比率については、パートタイム労働者の伸びが一般労働者の伸びを上回る状況が続いていることから上昇傾向に

ある。相対的に賃金の低いパートの比率上昇が、一人当たり賃金を下押しする状況に変化はない。

もっとも、マクロ経済全体でみた雇用者報酬（一人当たり賃金×常用雇用者数）は賃金、雇用ともに増加が続いていることから、前年比+2.9%と安定的な増加基調を辿っている。雇用者報酬の改善が個人消費に繋がることが期待されよう。

## ○名目賃金は緩やかな増加傾向で推移すると予想

所定内給与の伸び悩みがみられたものの、先行きについてはこうした動きにも歯止めがかかってこよう。所定内給与はベアによる押し上げ効果が年度を通じて顕在化することや労働需給の逼迫が下支えになることで、緩やかな増加基調を辿るとみている。雇用環境をみると、10月の失業率（3.1%）は1995年7月以来の低水準を記録し、足元の労働需給は引き締まっている様子が窺える。また、雇用に先行する新規求人数は引き続き高水準にあることなどを踏まえれば、雇用環境は良好な状況が続くそう。

所定外給与については、連動性のある鉱工業生産は依然先行き不透明感が払拭しきれていないものの、最悪期は脱しつつあり生産の回復にあわせて所定外給与も改善基調を辿ることが見込まれる。一方で、特別給与については、冬のボーナスも減少が見込まれるなど不透明感は強い状態だ。総じてみれば、所定内給与、所定外給与の改善を背景に名目賃金は緩やかな増加傾向で推移すると予想している。

